

① 原油

- ⇒ 2日のニューヨーク原油先物相場は3日続落した
- ⇒ WTI原油4月限の終値は前営業日比0.89ドル安の1バレル=59.75ドルとなった
- ⇒ 時間外では一時59ドル半ばまで弱含んだが、石油需要増に繋がる「経済活動の早期正常化」への期待は根強く、NY勢の参入後は61ドル台まで反発する場面があった
- ⇒ もっとも引けにかけては再び売りが強まり、終値は2月19日以来の59ドル台となった
- ⇒ 石油輸出国機構(OPEC)会合で協調減産幅が縮小される見通しが高まる中で持ち高調整が進んだ
- ⇒ またOPECプラス共同技術委員会(JTC)が原油相場の楽観的な見通しに警告を発したことも重しとなった
- ⇒ WTI原油は目先的にはどうもピークを付けた感があります

【WTI原油:6ヶ月】



② 金

- ⇒ 2日のニューヨーク金先物相場は6日ぶりに反発した
- ⇒ ニューヨーク商品取引所(COMEX)で取引の中心となる4月限は前営業日比10.6ドル高の1トロイオンス=1733.6ドルとなった
- ⇒ 為替相場でドル高が進んだことが重しとなり、時間外では1705ドル割れまで売り込まれた
- ⇒ もっとも、約9カ月ぶりの1700ドル割れに失敗すると一転買い戻しが優勢に
- ⇒ NY勢の本格参入後にはドル売り戻しが強まったことも支えに、1737ドル台まで下値を切り上げた

③ 米国株式

- ⇒ 2日の米国株式市場でダウ工業株30種平均の終値は前営業日比145.04ドル安の31390.47ドル、ハイテク株の比率が高いナスダック総合株価指数は同230.04ポイント安の13358.79だった
- ⇒ アマゾンが昨年8月の高値を半年間更新できておらず、どうやら下落トレンドに入った模様
- ⇒ テスラも大幅反落

【アマゾン】



【テスラ】



④ バブル崩壊懸念

⇒ 中国銀行保険監督管理委員会(銀保監会)主席を務める郭氏が 2 日記者会見し、「海外の金融資産バブルがいつか崩壊するのではないかと非常に心配している」と指摘した

⇒ 同氏は中国人民銀行(中央銀行)副総裁も務める

⇒ 中国国内でも新型コロナ対応の金融緩和で大都市の不動産価格が上昇している

⇒ 郭氏は「不動産バブルの傾向はなお強い」と危機感を示した

⇒ 銀保監会と人民銀行は 1 月から銀行の不動産会社への融資や個人への住宅ローンで総量規制を設けている